

【提案A】 SVCIP

C: 中心概念 「古文書の救済」で「地方の活性化 & 地方の新しい雇用」



- ◆ 「古文書の消滅」: 各地方の“宝”が「消滅・廃棄」
- ◆ 「技術者の不足」: 「補修の技術者」と「デジカメ撮影の技術者」
- ◆ 「高齢者・主婦・身障者」: 手先が器用な国民。(人選と新教育体制)
- ◆ 「職人の養成」: 新予算・新規制で一億総活躍・世界貢献が”可能”



S: 状況 ※S 詳細

- ◆ 「古文書」: は[世界遺産に相当\(動画\)](#)と海外学者方から高く評価されるが「天災・人災」で「消滅・劣化・廃棄」。
- ◆ 廃棄: されると二度とその記録に辿り着け無くなり取り返しがつかない、しかし消滅の一途。
- ◆ 「働ける環境」の不足: 「働かない・働けない」理由。
- ◆ 「仕事場」の不足: 高齢者・主婦・身障者で可能な仕事場。
- ◆ 「社交場」の不足: 例) 病院待合室が[社交場](#) (負担¥42兆)。
- ◆ 技能の指導: 「無償の指導」では既存の企業体が廃業。
- ◆ 世界の仕事: 「安価・安全・安心」へ発注している。 状況



V: 判断 (急務) ※V 詳細

- ◆ 「地域興しの基本」: に「古文書の救済」が不可欠である事の周知。
- ◆ 10年後は不可能: [現場\(動画\)](#)・[詳細](#)
- ◆ 「急増する高齢者」: への「手に職」の「職」の養成。高齢者・主婦・身障者への技能の養成と新予算。[補修\(画\)](#)・[撮影\(画\)](#)・[撮影\(動画\)](#)
- ◆ 【別案D・E】 [仕事場・社交場の提供](#)
- ◆ 【別案B】 技能を[養成させる](#)新体制
- ◆ 【別案C】 [国内外から受注](#) 新体制



I: 具体案 (古文書の補修とデジカメ撮影)

- ◆ 予算: 450億円 (5年計画: [90億円×5年](#))
- ◆ 全国規模: 1都1道2府43県 各県知事等と民が協力

P: 実行計画 ※I・P 詳細

- ◆ 2016年度中:
「古文書 救済会」等を各県庁舎内に設置・官民協力して実行